

学校教育目標

「夢や目標をもち
チャレンジ精神と思いやりの心に
満ちあふれた生徒の育成」



希望坂(北中だより)

第9号 令和8年1月9日

みやき町立北茂安中学校
校長 原田 浩臣

<https://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-j/>

あけましておめでとうございます

新年の始まりには、始業式で毎年同じ話をしています。

「一年の計は、元旦にあり」と言いますが、令和8年のスタートにあたって、みなさんは何を決意しましたか。3年生は、「志望校に合格」「〇〇高校で…」でしょうし、1・2年生は、「勉強や部活動、習い事の目標」を設定した人も多いことでしょう。

今の時季は、厳しい寒さが続くものですが、この寒さがないといけないものがあります。それは、春になると華やかに花を咲かせるチューリップです。チューリップは、球根を秋から冬にかけて植え込みます。厳しい冬の寒さを経験しないと、あの見事な花は咲かないそうです。時期を考えて、わざと冷蔵庫で寒さを経験させることも…。寒いからといって覆いを掛けたり、暖かな部屋に置いたりすると、葉は茂りますが、立派な花は咲かないそうです。

もう一つ、お花の話で…タンポポはとても生命力が強い植物です。どんなにかんかん照りでも、どんなに人に踏まれても決して枯れたりしません。とても我慢強い植物です。その秘密は、根っこにあります。草丈が14cmほどで、根の長さが50cmからなかには1mにもなるタンポポもあるそうです。このタンポポの根を掘ろうとするととても苦労します。根が地中深く伸びていて、何回も途中で切れてなかなか掘り出せません。タンポポはどんなにつらい状況になろうともじっと我慢して花を咲かせます。それはこのようにしっかりと地下深く根を張っているからです。

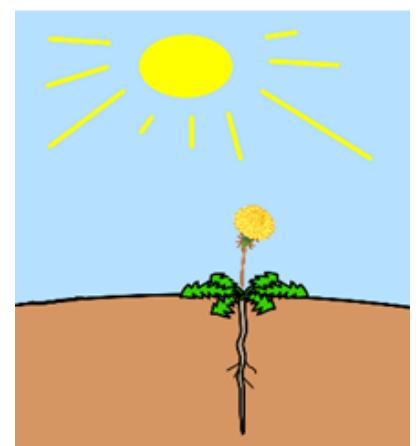
この2つの花と人間の成長も同じことが言えるのではないかと思っています。社会の中で、成功を収めた人や立派な業績を残した人は、ほとんど例外なく、多くの課題や苦境を乗り越えています。辛くても努力を重ねたり、いろんな困難を乗り越えたりして、人として成長を遂げ、成功しています。

時には厳しい状況が、たくましく育ってくれます。自分に厳しくあってほしいと思います。

「晴れの日には葉が育ち、雨に日には根が育つ」この言葉は、自立型人材の育成、組織活性化や新規事業立ち上げ、地域活性化支援の専門家である福島正伸さんの言葉です。植物の事を表した言葉ではなく、順調ではない時こそ、基盤を伸ばしたり、逆境に抗えるように根を伸ばすという意味です。

3年生の中には、入試に向けて努力しているにもかかわらず、なかなか結果が出ずには焦ったり、心配になったりしている人もいるかもしれません。1・2年生も勉強や部活動など何かにつけ、そんな時があると思います。そんな時は、この言葉を思い出し、立派な花を咲かせるために、大きな根を伸ばし続けてください。それが自信へとつながります。入試や試合では、誰も助けてくれません。自分で考えて実行する力が問われます。今年一年、悔いを残さないよう

自分の将来のために、自分に厳しく、そして自分に厳しくしてくれる人に感謝しながら、自分を育てましょう。



服装を考える日

本校では12月16日、17日の両日に生徒会が中心となり、「服装を考える日」を実施しました。保護者の方々へのお知らせの文書も生徒会長が自ら考え、作成しました。また生徒会で事前アンケートを行い、この取り組みに疑問を持つ生徒一人ひとりに丁寧な説明を行い、この取り組みに全生徒が理解してもらえるよう努力を行っている様子を見守り、校長として最終的に実施の許可を出すに至りました。

この「服装を考える日」には、いくつかの目的と意義があります。まず、生徒が自分の個性を表現できる機会となり、制服では見えにくい多様な価値観や感性を尊重する姿勢を育みます。また、服装を選ぶ過程で自己判断力や責任感を養うことができ、社会生活に必要なスキルの一端を体験する場ともなります。

さらに、学校生活に変化を加えることで、生徒の気分転換やリフレッシュにつながり、学習意欲の向上にも寄与します。加えて、家庭とのコミュニケーションを深める契機にもなり、保護者と子どもが服装について話し合うことで理解を深める効果も期待されます。つまり「服装を考える日」は単なる特別行事ではなく、生徒の主体性を伸ばし、学校生活をより豊かにする教育的意義を持つ取り組みととらえ実施し、当日は、私服・制服・体操服など思い思いの服装で生徒は登校しました。この取り組みが生徒一人ひとりの成長へつながることを期待します。



不審者対応研修会

近年、全国各地の学校内外で不審者による事件が多発しており、本校でも冬期休業中の12月26日に不審者対応の教職員研修を行いました。講師（防犯アドバイザー）として防犯協会の平尾様と鳥丸様に来校いただき、「生徒の命を守り、警察到着まで時間を稼ぐ」ための実技と技術の習得に重点を置き講習していただきました。

主な訓練内容は、まず、不審者がきた時の教師の動きや時間を稼ぐための会話術、また生徒を教室から逃がす時間がない場合は不審者を教室に入れないように教室内に机や椅子を積み上げるバリケード構築の訓練を行い、物理的な侵入阻止の練習を徹底して行いました。教室内に侵入された場合は椅子を効果的に使い、不審者との距離を保ち、動きを封じる連携の指導を受けました。また「さすまた」の効果的な使用法の習得や素手での対処法など、教師が不審者から身を守る護身術を教えていただきました。

さらに、不審者発見時の素早い校内放送への連携や、役割分担（通報係・現場急行係・避難誘導係）のシミュレーションも行いました。不審者が可燃物や刃物を持っている等の「最悪の事態」を想定し、マニュアル通りにいかない場面での判断力を養う実践的な内容も学ぶことができました。不審者等が校内に出現することなく、こうした訓練が無駄に終わるのが一番なのですが、不審者が現れた場合でも教職員一人ひとりが的確な判断で、生徒の命を第一に考えて行動できるよう日々、研修を重ねていきたいと思います。

